

測色研究会 研究発表会 参加募集のご案内

2018年度の測色研究会の発表会についてご案内致します。今年度の研究発表会は、デジタルアーカイブをテーマにし、特別企画として、招待講演1件、セミナー1件を行います。特別講演では、長野大学 企業情報学部の田中法博先生を講師にお迎えし、「計測データとCG技術に基づいた文化財のデジタルアーカイブ」と題し、田中先生の長年にわたるデジタルアーカイブに関するご研究を俯瞰して頂き、油彩画、日本刀のCG再現の取り組みに加え、既に実物が失われてしまった古城（小諸城）の城郭を古文書や現地計測に基づいてCG復元する取り組みを紹介して頂きます。また、セミナーでは、日本電信電話株式会社 コミュニケーション科学基礎研究所の土田勝氏が講師を務め、「市販デジタルカメラを用いたマルチバンド撮影と色再現/分光反射率の推定」と題し、実際の機器や講師の所有する骨董品を対象に、過去に行ったデジタルアーカイブの経験を踏まえた解説を、デモをを行いつつ実施します。

また、一般発表におきましては、5件の発表に対し、2つのセッションを設けて開催致します。セッションⅠでは「測色応用」をテーマに半透明体の測定や金属色の知覚、及びデジタルアーカイブに於ける照明光の分光分布に関する3件のご発表を行って頂きます。また、セッションⅡは「測定機器」をテーマに、最近開発された測定システムの技術発表を2件、行って頂きます。皆様方のご参加を、宜しくお願い致します。

測色研究会 主査 大住 雅之, 武井 昇

1. 研究発表会実施概要

- 日時:** 2019年3月6日(水) 10:30 ~ 17:30
場所: タワーホール船堀 401 会議室
 〒134-0091 東京都江戸川区船堀 4-1-1 TEL:03-5676-2211 (都営新宿線船堀駅隣接)
参加資格: どなたでも参加頂けます。参加費用は無料です。
懇親会: 発表会の後、ささやかながら懇親会を予定しております。
予稿集: 予稿集はPDFでの事前配布を行います。準備ができ次第、ダウンロードの案内を致しますので、十分にご注意ください。

2. プログラム

- 10:15~10:30 開場 受付
 10:30~10:35 挨拶 開催要領説明

セッションⅠ:測色応用

- 10:35~11:05 I-1.「空間分解分光法による色測定の可能性について」(30分)
 *高松 操, 松本 和(株)分光応用技術研究所
 11:05~11:25 I-2.「実物体を用いた金属色知覚の調査」(20分)
 *田中 緑, 堀内 隆彦(千葉大学)
 11:25~11:55 I-3.「彩度強調成分を用いた照明光スペクトルの制御」(30分)
 *土田 勝, 川西 隆仁, 柏野 邦夫(日本電信電話株式会社 コミュニケーション科学基礎研究所)
 11:55~13:00 昼食休憩 (65分)

セッションⅡ：測定機器

13:00～13:20 Ⅱ-1.「**表面反射アナライザ＝ハンディ計測機による BRDF 計測手法と測定例**」(20分)

*加藤 成樹, 魚住 崇之, 葛西 祐介(キヤノン株式会社 計測機器事業推進センター)

13:20～13:40 Ⅱ-2.「**マルチアングル分光測色計 CM-M6 の測色技術**」(20分)

*寺岡 良隆, 瀬戸口 知巳(コニカミノルタ株式会社 産業光学システム事業本部)

招待講演:

13:40～14:40 「**計測データと CG 技術に基づいた文化財のデジタルアーカイブ**」

講師:長野大学 企業情報学部 田中法博先生

概要:本講演では、3次元コンピュータグラフィックス(3DCG)技術に基づいたデジタルアーカイブ技術について具体的な研究事例を交えながら解説します。3DCGに基づいたデジタルアーカイブでは、対象となる文化財を自分が見たい位置から、見たいシーンで鑑賞することができます。しかしながら3DCGに基づいたデジタルアーカイブでは、形状計測の問題、周囲の照明環境に対して物体表面で生じる光沢・陰影の色再現等といった3DCG特有の課題が存在します。本講演では、その課題の解決のためにどのような試みがなされているのか、具体的な事例として油彩画、日本刀のCG再現の取り組みに加え、既に実物が失われてしまった古城(小諸城)の城郭を古文書や現地計測に基づいてCG復元する取り組みを紹介します。

14:40～15:00 休憩

セミナー:

15:00～16:30 「**市販デジタルカメラを用いたマルチバンド撮影と色再現/分光反射率の推定**」

講師:日本電信電話株式会社 コミュニケーション科学基礎研究所 土田 勝氏

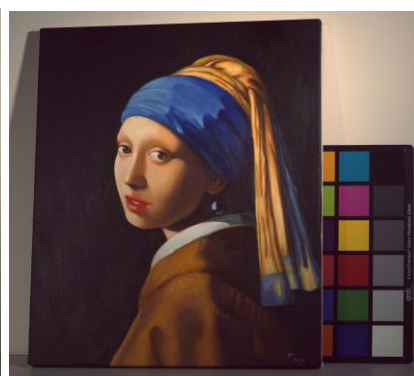
概要:市販のデジタルカメラを用いてのマルチバンド撮影(可視6バンド+赤外)の方法と、分光反射率推定およびPCモニター上での色再現に関する一通りの手順の紹介と実演を行います。大判カメラを用いての高精細画像撮影方法も、併せて紹介します。この方法を用いて、講師らは実際に文化財のデジタルアーカイブを行っています。色再現を試してみたい被写体の持込も歓迎します。



セミナーでの被写体例



(A)



(B)

レプリカの油彩画を、今回のセミナーで実施する手法を用いて、アーカイブしたものです。この例では、いずれか一方が3chで、残りの一方が6chのマルチバンドでとらえたものです。どちらがより本物に近いでしょうか？ 答えは、セミナーでご確認下さい。

総合討論:

16:30～17:00 今回の研究発表会全体を通して、質疑応答を中心とした総合討論を行います。

総会:

17:00～17:30 今年度の報告と共に、来年度の活動計画について、総会を開催します。

懇親会:

18:00～20:00 会場の近くで2～3時間ほど、ささやかながら懇親会を予定しています。参加希望者は申込の際に合わせてご連絡下さい。会費は4～5千円程度で当日、懇親会の際に徴収します。

3. 参加申込方法:

参加費: 無料（参加者には事前に発表論文集のPDFをダウンロードして頂きます。）

申込方法:

「参加希望」と明記の上、氏名、連絡手段(住所、電話番号、e-mail アドレスのいずれか)、測色研究会員・非会員、一般、学生の区別を、下記の方法にてご連絡下さい。

e-mail: kobayashi.shinji@jcrc.jp
(日本色彩研究所 小林信治)

※懇親会参加の予定をお知らせください。

参加申込締切:

2019年3月1日(金)

※皆様の参加をお待ちしております。

4. 会場案内:



以上